

都市再生整備計画 事後評価シート

小浜子育て応援地区

令和7年2月

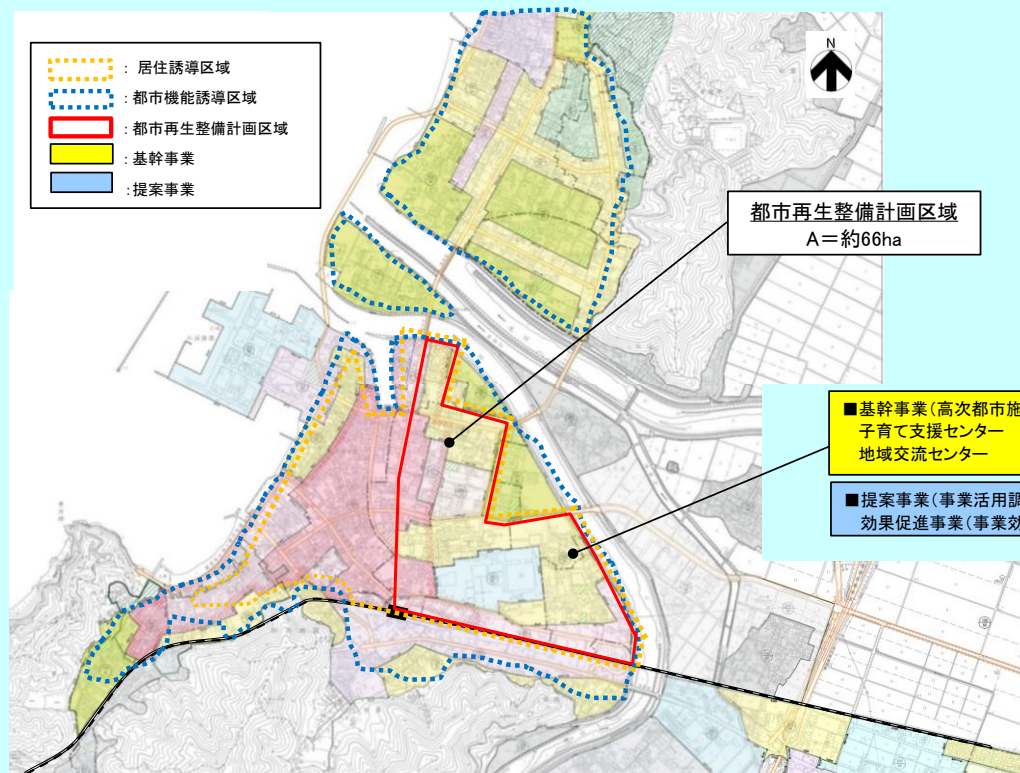
福井県 小浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県		市町村名		小浜市		地区名		小浜子育て応援地区			面積	66ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度			事後評価実施時期		令和6年度		交付対象事業費		845百万円	国費率	0.5			
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業		事業名												
			基幹事業	地域交流センター(高次都市施設)、子育て支援センター(高次都市施設)											
			提案事業	効果促進事業(事業効果分析調査)(事業活用調査)											
	当初計画 から削除 した事業		事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	なし				-				-			
	新たに追加 した事業	基幹事業	なし				-				-				
		提案事業	なし				-				-				
	交付期間 の変更		当 初	令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		なし							
			変 更	なし											
	2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標			単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
指標1		施設全体の利用者数の増加	人/年	14,720	H30	34,500	R5	-	44,196	○	あり	子育て支援センターのほか、地域交流エリアや健康づくり・介護予防エリアを有しており、市街地において広い世代が交流できる施設が誘導されたことにより、利用者数の増加に繋がっている。	-		
指標2		施設利用の満足度の高さ	%	-	H30	80	R6	-	89.6	○	あり	子育て支援センターのほか、地域交流エリアや健康づくり・介護予防エリアを有しており、市街地において広い世代が交流できる施設が誘導されたことや各種相談窓口が一元化されたこと等により、利用者の満足度の向上に繋がっている。	-		
											なし				
指標3		合計特殊出生率の上昇	-	1.74	H30	1.74	R5	-	1.35	×	あり	子育て支援センターとの合築による小浜市健康管理センターがまちなかに整備されたが、新型コロナウイルス流行の影響もあり合計特殊出生率の増加には繋がらなかった。ただし、子育て支援センターが整備されて間もないため、今後の合計特殊出生率の推移を注視していく。	-		
											なし	●			
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況		指 標			単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
						基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
		その他の数値指標1	社会増減	人/年	-198	H30				-11				小浜市健康管理センターが整備されたことも1つの要因として、居住に関して魅力が向上したことで社会増減の下げ止まりに繋がっている。	令和7年6月
4)定性的な効果 発現状況	・令和6年度に実施した小浜市健康管理センター利用に関するアンケートにおいて、多くの利用者が整備されてよかった・今後積極的に利用したいと回答していることから、利用者の満足度は高いとかがえる。 ・小浜市健康管理センターにて従来の子育て相談に加え乳幼児一時預かりサービスを開始したことで、子育て世代に対しより一層の支援に繋がった。 ・夏場の猛暑時には玄関ホールと4階市民交流エリアがクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)に指定され、市民の熱中症予防施設としての役割が付加できた。														
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				-				
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	官民連携による 取組	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				-				
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				-				
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

小浜子育て応援地区(福井県小浜市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「住んでよし、訪れてよし」地域資源を生かした持続可能なまちづくり 目標:「住んでよし」安心安全に暮らすことのできるコンパクトなまちづくり	施設全体の利用者数の増加	人/年	14,720	H30	34,500	R5	44,196	R5～6
	施設利用の満足度の高さ	%	—	H30	80	R6	87.5	R6
	合計特殊出生率の上昇	—	1.74	H30	1.74	R5	1.35	R6



小浜市健康管理センター



市民交流エリア



子育て支援センター

まちの課題の変化	・小浜市健康管理センター内には市民交流エリアが整備されており、地域交流の場が創出された。 ・小浜市健康管理センター内には子育て支援センターや一時預かりルームが整備されており、まちなかの子育て支援機能の充実が図られた。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・利用者の意見を踏まえつつ、更に地域交流の場やまちなかの子育て支援機能を充実させていく必要がある。 ・若年層のまちなか居住促進にあたり、ハード面だけでなく、ソフト面(補助事業・情報発信等)についても進めていく必要がある。 ・合計特殊出生率向上のため、子どもを育てやすい環境となるよう、子育て支援機能の更なる充実を図っていく必要がある。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 官民連携による取組の実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－② まちの課題の変化
- 添付様式5－③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 — 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	-	-	-
B. 目標を定量化する指標		●	-	-	-
C. 目標値		●	-	-	-
D. その他()		●	-	-	-

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
高次都市施設	地域交流センター	325	A=830.5㎡	438	A=902.8㎡	設計後に、施設の規模、配置等に変更が生じたこと及びアスベスト除去・処分増工の発生に伴う事業規模等の変更	影響なし	●	
高次都市施設	子育て支援センター	325	A=778.5㎡	401	A=825.2㎡	設計後に、施設の規模、配置等に変更が生じたこと及びアスベスト除去・処分増工の発生に伴う事業規模等の変更	影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
事業活用調査	効果促進事業(事業効果分析調査)	6	調査委託	6	調査委託	—	—	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
—		—	—	—	—	—	—	—

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
		単位			基準 年度		基準 年度		目標 年度					あり	なし	
指標1	施設全体の利用者数の 増加	人/年	計測時期:令和6年11月 実施主体:健康管理センター 対象:小浜市健康管理センター の利用者数 具体手法等:オープン後1年間 (令和5年12月～令和6年11月) の利用者数を集計し、評価値 (確定値)とする。	-	-	14,720	H30	34,500	R5	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定 ●	44,196	事後評価	○		
										見込み						
指標2	施設利用の満足度の高さ	%	計測時期:令和6年10～11月 実施主体:健康管理センター 対象:小浜市健康管理センター の利用者 具体手法等:利用者に対しアン ケート調査を実施し、施設の満 足度として「期待以上に満足」 「期待どおりに満足」と回答した 利用者の割合を評価値(確定 値)とする。	-	-	-	H30	80	R6	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定 ●	89.6	事後評価	○		
										見込み						
指標3	合計特殊出生率の上昇	-	計測時期:令和6年12月 実施主体:健康管理センター 対象:小浜市の合計特殊出生率 具体手法等:令和6年12月20日 時点の出生数から令和6年の合 計特殊出生率を算出し、評価値 (見込みの値)とする。	-	-	1.74	H30	1.74	R5	モニタリング	-	-	モニタリング	-		●
										事後評価	確定 ●	1.35	事後評価	×		
										見込み ●						

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	子育て支援機能と地域交流機能との相乗効果で期待以上の成果を挙げることができた。	-
指標2	市街地において広い世代が交流できる施設が誘導されたことで期待以上の成果を挙げることができた。	-
指標3	事業期間内において目標値を越えている年度(令和2年:1.81)はあるが、近年の数値を踏まえ、数値目標の達成は困難であると判断した。	-

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。
※2 目標達成度の記入方法
○:評価値が目標値を上回った場合
△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
		単位			基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	社会増減	人/年	計測時期:令和6年11月 実施主体:健康管理センター 対象:小浜市の転入転出者数 具体手法等:小浜市統計書に基 づく令和2～4年度の社会増減 数の推移傾向から令和5年度の 社会増減数を推計し、評価値 (見込みの値)とする。	-	-	-198	H30	モニタリング		-	合計特殊出生率の上昇の数値目 標は達成できなかったものの、健 康管理センターが整備されたこと で、まちの魅力が向上し、社会増 減の下げ止まりにも寄与している と考えられるため。	-
								事後評価	確定			
									見込み	●	-11	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- 令和6年度に実施した小浜市健康管理センター利用に関するアンケートにおいて、多くの利用者が整備されてよかった・今後積極的に利用したいと回答していることから、利用者の満足度は高いとかがえる。 - 小浜市健康管理センターにて従来の子育て相談に加え乳幼児一時預かりサービスを開始したことで、子育て世代に対しより一層の支援に繋がった。 - 夏場の猛暑時には玄関ホールと4階市民交流エリアがクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)に指定され、市民の熱中症予防施設としての役割が付加できた。
--

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した	—	—	—
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画庁内検討会議	・子ども未来課 ・高齢・障がい者元気支援課 ・市民福祉課	令和7年1月	健康管理センター (都市再生整備計画事業担当課)

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		その他指標1			
指 標 名		施設全体の利用者数の増加		施設利用の満足度の高さ		社会増減			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	目標未達成への影響度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	地域交流センター	◎	子育て支援センターのほか、地域交流エリアや健康づくり・介護予防エリアを有しており、市街地において広い世代が交流できる施設が誘導されたことにより、利用者数の増加に繋がっている。	◎	子育て支援センターのほか、地域交流エリアや健康づくり・介護予防エリアを有しており、市街地において広い世代が交流できる施設が誘導されたことや各種相談窓口が一元化されたこと等により、利用者の満足度の向上に繋がっている。	○	小浜市健康管理センターが整備されたことも1つの要因として、居住に関して魅力が向上したことで社会増減の下げ止まりに繋がっている。		
	子育て支援センター	◎		◎		○			
提案事業	効果促進事業(事業効果分析調査)	－		－		－			
関連事業									

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も利用者数の増加に繋がる機能の維持・充実に努めていく。	今後も満足度が高い施設となるよう、住民意向の反映や利用促進を図っていく。	転入者向けのPRや支援を通じて社会増を図っていく。	
-------	-------------------------------	--------------------------------------	---------------------------	--

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3											
指 標 名		合計特殊出生率の上昇											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	地域交流センター	-	子育て支援センターとの合築による小浜市健康管理センターがまちなかに整備されたが、新型コロナウイルス流行の影響もあり合計特殊出生率の増加には繋がらなかった。ただし、子育て支援センターが整備されたため、今後の合計特殊出生率の推移を注視していく。	I									
	子育て支援センター	△											
提案事業	効果促進事業(事業効果分析調査)	-											
関連事業													

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	子どもを育てやすい環境となるよう、ソフト面の充実も併せて 行っていく必要がある。									

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画庁内検討会議	・子ども未来課 ・高齢・障がい者元気支援課 ・市民福祉課	令和7年1月	健康管理センター (都市再生整備計画事業担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
若年層のまちなか居住誘導	-	子育て支援機能は充実したが、子育て世代のまちなか居住増 までには至っていない。	-
まちなかの子育て支援機能の 充実	健康管理センター内に子育て支援センターや一時預かり ルームが併設整備されており、まちなかの子育て支援機 能の充実が図られた。	子育て支援機能は充実したが、合計特殊出生率の向上には 至っていない。	-
まちなかの地域交流の場の創 出	健康管理センター内に市民交流エリアが併設整備され、 地域交流の場が創出された。	-	-

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策
を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を
添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	まちなかの子育て支援機能の充実	・利用者の意見を踏まえつつ、更にまちなかの子育て支援機能を充実させていく必要がある。	・利用者増加のための施設PR ・休日にも利用できる体制の構築 ・屋内遊び場の充実 等
	地域交流の場の創出	・利用者の意見を踏まえつつ、地域交流の場を充実させていく必要がある。	・利用者増加のための施設PR ・施設利用料金の見直し ・公共交通アクセスの改善 ・玄関口の改善(雨避けの設置等) ・施設内設備(自販機等)の充実 ・青壮年・高齢者等の誘導 等
	-	-	-

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	若年層のまちなか居住促進	・若年層のまちなか居住促進にあたり、ハード面だけでなく、ソフト面(補助事業・情報発信等)についても進めていく必要がある。	・若年層の居住に対する補助事業の充実 ・SNS等を通じた小浜市の魅力発信 等
	合計特殊出生率の向上	・合計特殊出生率向上のため、子どもを育てやすい環境となるよう、子育て支援機能の更なる充実を図っていく必要がある。	・休日にも利用できる体制の構築 ・安心して相談できる窓口施設の充実 ・産後ケアの充実 等
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	-	-

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4ー②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4ー③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5ー②)を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5ー④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2ー①、2ー②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2ー①、2ー②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画				
			年度		年度							予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	施設全体の利用者数の増加	人/年	14,720	H30	34,500	R5	確定	●	44,196	○	あり	→	-	-	-	
							見込み				なし					
指標2	施設利用の満足度の高さ	%	—	H30	80	R6	確定	●	89.6	○	あり	→	-	-	-	
							見込み				なし					
指標3	合計特殊出生率の上昇	—	1.74	H30	1.74	R5	確定		1.35	×	あり	→	-	-	-	
							見込み	●			なし					●
その他の数値指標1	社会増減	人/年	-198	H30			確定		-11				→	令和7年6月	小浜市が公表する令和6年度の社会増減数の値を確認し、確定値とする。	-
							見込み	●								

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	-	・従前値の算出方法の記録を保管しておくことが必要である。 ・合計特殊出生率に係る指標は、施設整備による影響が現れにくいものであり、採用にあたって注意が求められる。
	うまく いかなかった点	・指標「施設全体の利用者数の増加」について、従前値の算出根拠が不明確であった。 ・合計特殊出生率の維持を数値目標としたことにやや無理があった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事後評価を実施したことにより、一連の事業実施効果が数値として明らかとなり、残された課題や効果の持続を図るべき事項が明確となった。	一連の事業実施にあたって、目標及びこれを数値化する適切な指標を設定し、事業の実施過程及び実施後にこれをチェックしながら今後のまちづくりに活かすことは、まちづくりを計画的、継続的に進めるうえで有効なシステムである。
	うまく いかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

【今後の都市再生整備計画事業の活用予定】

なし

【事後評価を予定している地区】

小浜おもてなし地区

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	ホームページに掲載	令和7年1月27日～2月10日	令和7年1月27日～2月10日	担当部署への持参、 郵送、FAX、 電子メール	健康管理センター (都市再生整備計画 事業担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	健康管理センター窓口及び高 齢・障がい者元気支援課窓口 での閲覧	令和7年1月27日～2月10日	令和7年1月27日～2月10日		

住民の意見	意見なし。
-------	-------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	なし	令和7年2月19日	健康管理センター (都市再生整備計画事業担当課)	小浜市都市再生整備計画事後評価委員会	-
その他の委員	小浜市社会福祉協議会 小浜市民生委員児童委員協議会 子育て支援関係 小浜市老人クラブ連合会 若狭健康福祉センター				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし。
	成果の評価	・「施設全体の利用者数の増加」の指標について、評価値である小浜市健康管理センターオープン後1年間の来館者数が目標値を超えていたことは、再整備された効果が十分に出ており、良い結果であるとの意見があった。
	実施過程の評価	・特になし。
	効果発現要因の整理	・特になし。
	事後評価原案の公表の妥当性	・特になし。
	その他	・「施設全体の利用者数の増加」の指標について、従前値の設定根拠を示してほしいとの意見があった。 ⇒従前値の設定根拠については不明な点が多く、以後都市再生整備計画を策定する際には従前値の設定根拠を明確化しておくことと答弁。 ・「合計特殊出生率の上昇」の指標について、小浜市健康管理センターが再整備されたことで合計特殊出生率が急に上昇するものではないとの意見があった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・頻りに利用する市民が多い中で利用時間と利用料金の改善が必要でないかとの意見があった。 ・出生率向上を図るためには、産後ケアの充実が重要ではないかとの意見があった。 ・小浜市健康管理センターにおいて、世代間交流が可能なイベント等があるとより機能が充実するのではないかと意見があった。 ・小浜市健康管理センターの相談窓口について、話しやすい空間を創出してほしいとの意見があった。 ⇒窓口にパーテーションを設置するなどして話しやすい空間の創出を検討すると答弁。 ・小浜市健康管理センターを拠点として、他施設と連携できるような体制が構築できると利用者の選択肢が広がるのではないかと意見があった。 ・アンケート調査の結果を踏まえ、今後取り組むことを市民に対して示してほしいとの意見があった。 ・子育て世代に優しい避難所など、特化した避難所があっても良いとの意見があった。 ⇒感染症対策に特化した避難所として位置付けることも考えていると答弁。 ・小浜市健康管理センターが地域共生の場となると良いとの意見があった。 ・男性の子育て対応を念頭とした施設運営の充実が図られると良いとの意見があった。 ・今後増加が予想される独居老人の対応についてもまちづくりの方策に加えることはできないかとの意見があった。 ⇒高齢者の生活課題について別途検討を進めていくと答弁。
	フォローアップ	・特になし。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当である認められた。
その他		・特になし。

※1 審議事項の詳細は「都市再生整備計画事業評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画

お ば ま こ そ だ お う え ん
小浜子育て応援地区
(第2回変更)

ふ く い け ん お ば ま し
福井県 小浜市

令和3年10月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福井県	市町村名	おばまし 小浜市	地区名	おばまこそだ おうきん ちく 小浜子育て応援 地区	面積	66	ha
計画期間	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	交付期間	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度					

目標	「住んでよし、訪れてよし」地域資源を生かした持続可能なまちづくり 目標 「住んでよし」 安心安全に暮らすことのできるコンパクトなまちづくり
目標設定の根拠	都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針) ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 保健・福祉・子育てを取り巻く環境は、少子高齢化や核家族など、社会構造の変化や生活様式の多様化に伴い、大きく変わってきており、小浜子育て応援地区を設定し、複合化した施設を設置することでコンパクトなまちづくりを行っていく必要がある。特に、子育てでは、核家族化やひとり親家庭の増加などの影響により、母親の孤立から育児不安に陥ることが懸念される。乳幼児期に良好な親子関係を築くことは、生涯にわたる生活習慣と人格形成の基礎に大きな影響を与える。妊娠期・出産・子育てなど子どもや保護者の多くの悩みや不安を相談できる体制や子どもの発達段階に応じた情報提供、親子で過ごせる居場所を充実させ、関係機関と連携を強化しながら、保護者が自信とゆとりを持って楽しく子育てすることで、子どもが健やかに成長できるよう支援していく必要がある。
まちづくりの経緯及び現況	○計画区域の設定 高次都市機能に分類される子育て支援センターは市街地外に立地している。 誘導区域において、医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供が図られるよう設定する。
課題	子育て支援や母親同士の交流を目的とした「子育て支援センター」が用途地域外に立地しているため、立地適正化計画に基づいて若年層をまちなかへ居住を誘導する必要がある。 「地域交流センター機能」や、「子どもが安心して遊べる滞在型の機能」も求められており、子育て支援センターの機能をまちなか移転し、地域交流センター等と複合化させることによる、利便性の高い一体的な施設の整備ができる。また、住民相互の交流の場やまちなかサロンなどコミュニティ活動を活性化していくため、市街地に地域住民が集える交流施設が必要となっている。
将来ビジョン(中長期)	○第5次小浜市総合計画 ・小浜市がめざす将来像を『「夢、無限大」感動おばま』とし、自然と文化を活かし地域力を結集した協働まちづくりを進めることとしている。 ・当計画に関連する取り組み内容としては、安全・安心な子育ての仕組みづくり、市民主体となったさまざまな交流活動の推進 ○都市計画マスタープラン ・平成24年4月に、小浜市都市計画マスタープランを改訂。「人と自然・歴史・文化を紡ぐ”感動のまち”おばまー地域力を活かした持続可能なまちづくりー」をテーマとし、本市の有する歴史・伝統・文化・食などの魅力を次代に継承するとともに、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりに取り組むこととしている。 ・その中でも、当地区に含まれるエリアのまちづくりは、まちなか居住の場づくり等に重点的に取り組むこととしている。 ○立地適正化計画 ・平成30年7月に、小浜市立地適正化計画を策定。都市計画マスタープランの方針をクローズアップし、「暮らしやすい持続可能なまちづくり」、「安全・安心で快適に住み続けられるまちづくり」、「地域資源を活かした多様な拠点とネットワークづくり」に取り組むこととしている。 ・居住や都市機能を誘導するための施策として、公共交通の利便性向上、子育て環境の充実、保健・福祉サービス拠点のまちなか移転・複合化等を位置付けている。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 現在の生活利便性を維持するため、最低限必要な都市機能を維持・誘導するとともに、市民生活を豊かにする高次な都市機能を維持・誘導する必要がある。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 子育て支援や母親同士の交流を目的とした「子育て支援センター」が用途地域外に立地しているため、立地適正化計画に基づいて若年層をまちなかへ居住を誘導する必要がある。 子育て支援センターの機能をまちなか移転し、住民相互の交流の場やまちなかサロンなどコミュニティ活動ができる地域交流センター等と複合化させることにより、市街地に地域住民が集える施設となる。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
施設全体の利用者数の増加	人/年	子育て支援センター（一時預かり舎）や地域交流センターの年間利用者数	子育て支援センターをまちなかに移転、地域交流センター機能と複合化した利便性の高い施設を整備し、利用機会を創出する。また、まちなかに地域交流の場を作ることにより、人の流れを都市機能誘導区域に呼び込む。	14,720	平成30年度	34,500	令和5年
施設利用の満足度の高さ	%	子育て支援センター（一時預かり舎）や地域交流センター利用の満足度	子育て支援センターの充実や一時預かり事業、地域交流センターを設置することにより市民の生活の満足度を高める。	—	平成30年	80%	令和6年
合計特殊出生率の上昇		15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計した、一人の女子が一生の間に産むとしたときの子どもの数を表す指数	子育て支援センターの充実や一時預かり事業を実施することで合計特殊出生率を上げる。	1.74	平成30年	1.74	令和5年

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【「住んでよし」安心安全に暮らすことのできるコンパクトなまちづくり】 まちなかでの社会活動を促進するため、子育て支援センターと地域交流センターの機能を一つの施設に集約し、市民の利便性の高い安心して生活できるまちおよび周辺施設と一体化した生活交流の拠点を目指す。 子育て施設では、親子で過ごせる居場所が充実でき、また、一時預かりを実施することにより保護者の負担が緩和できる。 地域交流施設では、コミュニケーションができるサロンのな場所を充実することで健康が維持でき、また、子育て世代から高齢者が交流することで世代間交流ができる。 健康や福祉などの講演会や研修会などを実施することで知識を高めながら仲間づくりができる。		(基幹事業／高次都市施設) 地域交流センター (基幹事業／高次都市施設) 子育て支援施設
その他		

(金額の単位は百万円)

統合したB/Cを記入してください

..B

大車學弗

0